

特殊詐欺対策ニュース

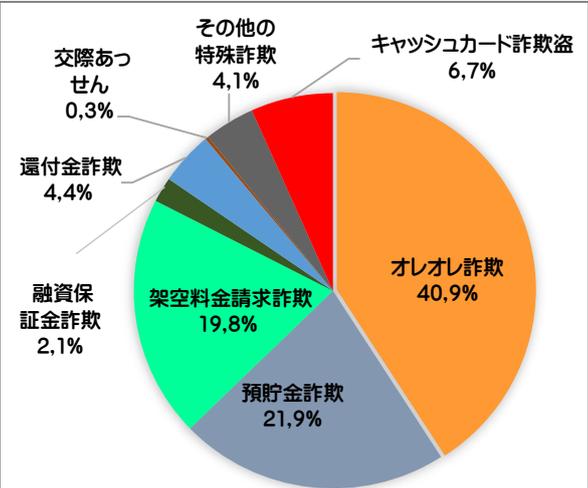
令和7年12月
警察本部生活安全企画課

特殊詐欺認知状況（令和7年11月末）※暫定値

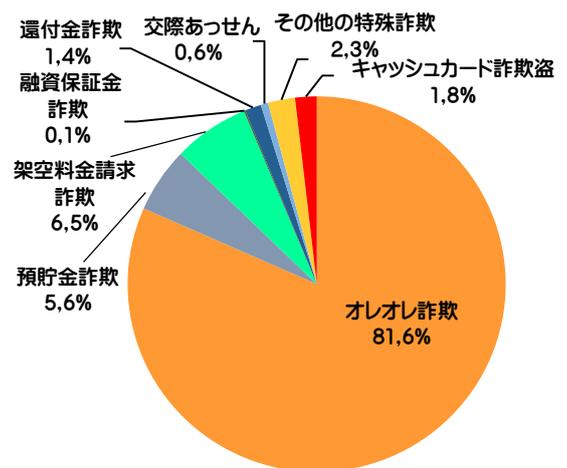
1 特殊詐欺の認知件数・被害額の状況

		認知件数	被害額
特殊詐欺合計	R7	389	1,939,895,895
	R6	166	614,751,602
	増減数	223	1,325,144,293
オレオレ詐欺	R7	159	1,583,301,106
	R6	52	393,271,600
	増減数	107	1,190,029,506
預貯金詐欺	R7	85	108,739,000
	R6	11	7,249,000
	増減数	74	101,490,000
架空料金請求詐欺	R7	77	125,479,379
	R6	63	149,686,225
	増減数	14	-24,206,846
融資保証金詐欺	R7	8	2,308,626
	R6	7	2,194,952
	増減数	1	113,674
還付金詐欺	R7	17	27,419,320
	R6	15	24,010,143
	増減数	2	3,409,177
金融商品詐欺	R7	0	0
	R6	2	5,009,300
	増減数	-2	-5,009,300
ギャンブル詐欺	R7	0	0
	R6	0	0
	増減数	0	0
交際あっせん詐欺	R7	1	12,196,681
	R6	1	1,145,000
	増減数	0	11,051,681
その他の特殊詐欺	R7	16	44,713,783
	R6	13	31,185,162
	増減数	3	13,528,621
キャッシュカード詐欺盗	R7	26	35,738,000
	R6	2	1,000,220
	増減数	24	34,737,780

【認知件数の比率】



【被害額の比率】



2 11月中に認知した主な事件

(1) 親族かたりのオレオレ詐欺事件

被害者（上川総合振興局管内居住、80歳代男性）の自宅固定電話に、息子をかたる男から「事業に失敗した」「今日中に300万円を返さないと大変なことになる」「俺の代わりに税理士が取りに行く」等と電話があり、その後、自宅を訪れた税理士を名のる男に現金300万円を手渡し、だまし取られた。

(2) 警察官等かたりのキャッシュカード詐欺盗事件

被害者（函館市内居住、70歳代女性）の自宅固定電話に、家電量販店店員を名のる者から「被害者名義のクレジット決済でテレビを買った者がいるか。」などと電話があり、その後、警察官を名のる者に電話が代わり、「函館で同じような事件が起きている。口座が使われている可能性があるから銀行協会に連絡する。これから人を向かわせるのでキャッシュカードを用意しておくように。」などと言われ、自宅を訪れた銀行協会職員を名のる者から、封筒にキャッシュカードを入れて保管するように指示され、目を離れた隙に、別のカード入り封筒とすり替えられ、キャッシュカード3枚をだまし取られた。

○令和7年11月末における特殊詐欺の認知件数は389件（R6年11月末:166件）で前年に比べ223件増加し、被害金額は約19億4,000万円（R6年11月末:約6億1,500万円）で前年に比べ約13億2,500万円増加しました。

○特殊詐欺被害者の年齢層は、高齢者（65歳以上）の割合が約62%（令和6年:約41%、令和5年:約71%）となっており、11月末時点では、被害者の半数以上が高齢者の方となりました。

○「2 11月中に認知した主な事件」のとおり、道内では、警察官等をかたり、金地金やキャッシュカードをだまし取る被害が発生しているほか、親族をかたるオレオレ詐欺など、様々な手口による被害が確認されています。警察官が金地金の購入等を指示したり、購入した金地金や現金を屋外に置くように指示することは絶対にありません。警察官等から突然のお金に関する電話がかかってきたときは、慌てて一人で決めることなく、家族や警察相談専用電話「#9110」に相談してください。